

出身地で地図をつくろう

ねらい

○出身地を代表する形で全員がフロアに地図を描くように立つゲームを通して、緊張をほぐし、話し合いを円滑に進めることができる。

特徴

緊張緩和	★★★★☆
話題提供	★★★☆☆
仲間作り	★★★★☆

活動の様子

活動しやすい、広いフロアで



主な流れ(例)

- ①進行役の指示を聞き、出身地別(都道府県や地域など)に移動する。
※進行役は、「みなさんの出身地はどこですか？ このフロアに、みなさんの出身地で地図をつくろうと思います。私は、特に何も指示を出しませんから、話し合いながら並んで作ってみてください。」といった指示を出し、出来上がるまでは特に指示を出さない。
※その後の活動によっては、近畿地方や中国地方など、人数が少ないところは地方別にグループ化する。
- ②同じ出身地のペアまたはグループで、さらにオープニングプログラム③「共通項を見つけよう」などを行う。

運営上の留意点

活動が始まったら、進行役は指示を出さない。

この活動は、参加者同士のコミュニケーションで地図をつくりあげるところに意味がありますから、進行役が「北海道出身はこちらへ！」などといった指示は無用です。最初にきちんと指示を伝えたら、出来上がるまで口を出さずに、参加者同士が関わる場を見守りましょう。もちろん、「ほほえみ」は忘れずに。